

Istanbul Weekly vol.8-no.19

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2019年6月14日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：** イスタンブール市長選候補、連休中地方都市で選挙キャンペーンを実施。
米国防省、トルコ軍パイロットへの F-35 戦闘機の操縦訓練の停止を発表。
ル・ドリアン仏外相の訪問：チャヴシュオール外相と会談。
- 経済：** トルコ中央銀行、政策金利を 24%のまま据置き。
銀行規制監督庁(BDDK)、クレジットカードの支払い上限回数を拡大。
- 治安：** 取締り強化により、ISIL の活動を未然防止。
トルコ国内での薬物押収量、EU での総量を超える。
- 軍事：** トルコ軍兵士 3 名が PKK との衝突で死亡。
- 社会：** パイラム期間中の交通事故で 86 名が死亡。

政治

【内政】

●イスタンブール市長選候補、連休中地方都市で選挙キャンペーンを実施

(1)5日、イマムオール・イスタンブール市長候補(CHP)は、生まれ故郷である黒海地方のトラブゾン、ギレスン、オールドウの各県を訪問し、選挙キャンペーンを実施した。イマムオール候補は、最近自身に対するギリシャ系の外国人であるといったプロパガンダやテロリストであるといった中傷が最近ねつ造されているとして、非難した。(6月5日付けビルギユン紙インターネット版等)



(写真は、6月5日付けBBCインターネット版から)

(2)6日、ユルドゥルム・イスタンブール市長候補(AKP)は、ディヤルバクルを訪問し、選挙キャンペーンを実施。キャンペーン中の演説において、クルド語で挨拶を行い、「クルディスタン」と発言したことが注目を集めた。これに対して、11日にバフチェリ MHP 党首は、トルコに「クルディスタン」は存在しないと批判しつつも、ユルドゥルム候補の発言が AKP と MHP による共和同盟に悪影響を及ぼすことはないとした。(6月6日付けC紙インターネット版等)



(写真は、6月5日付けBBCインターネット版から)

●イマムオール候補によるオールドウ県空港貴賓室使用を巡る騒動

(1)5日、オールドウ県を訪問したイマムオール・イスタンブール市長候補(CHP)が、オールドウ県空港の貴賓室を利用しようとした際、貴賓室の利用を許可しない空港当局との間で騒動が発生。空港当局は、県庁側から利用許可が下りていないとして、同候補の利用を認めなかった。騒動の際に、イマムオール候補によりヤルズ・オールドウ県知事を侮辱する発言があったと報じられる一方で、イマムオール候補は、ヤルズ・オールドウ県知事は罷を仕掛けたと非難した。(6月5日付けS紙インターネット版等)

(2)6日、ソイル内相は、イマムオール候補は以前トラブゾン空港の貴賓室を利用した際に、同貴賓室から出たいと自ら発言していたとし、また、同候補は民間チャーター機を利用しており、もともと貴賓室を利用する権利がないと非難。また、同チャーター機を保有するコチ・ホールディングについても、2013年のゲズィ公園事件の際に、抗議者一行に保有するホテルの敷地を提供して便宜供与を図っていたと非難した。(6月6日付けS紙インターネット版等)

(3)9日、コチ・ホールディングは、3月3日にユルドゥルム・イスタンブール市長候補にヘリコプターを、2017年にはゼイベキジ・イズミル市長候補にも今般と同じ飛行機をそれぞれ貸与していた旨明らかにした。(6月9日付けHT紙インターネット版等)

●ユルドゥルム候補とイマムオール候補が16日に公開討論会を実施予定

10日、パフチェリMHP党首は、ユルドゥルム候補とイマムオール候補が16日午後9時からイスタンブール市の金角湾ホールにおいて公開討論会を実施すると明らかにした。討論会は、Fox TV等で活躍するイスマイル・キュチュクカヤ司会者の進行で行われ、TV中継される予定である。(6月10日付けC紙インターネット版等)

【外交】

●米国、トルコのF35戦闘機多国間共同開発プロジェクトへの参加凍結の可能性

7日、シャナハン米国国防長官代行は、トルコがS-400ミサイル防衛システムをロシアから購入した場合には、F35戦闘機の多国間共同開発プロジェクトへの参加を凍結し、トルコ軍パイロット等への訓練を中止する用意がある旨、アカル国防相に書簡で警告したことを明らかにした。(6月7日付けソズジュ紙インターネット版)

●エルドアン大統領:「S-400ミサイル防衛システムは購入済み」

12日、エルドアン大統領は、S-400ミサイル防衛システムのロシアからの購入に関して、S-400は「購入予定」ではなく、「購入済み」であるとして、この問題は既に決定されていると強調した。また、F35戦闘機プロジェクトからトルコを除外すると、米国防省からの警告に対して、もしもトルコの参加が凍結されれば、あらゆる分野において米国に対して代償を払わせると発言した。(6月12日付けAAインターネット版等)

●米国防省、トルコ軍パイロットへのF-35戦闘機の操縦訓練の停止を発表

11日、米国防総省は、「安全上」の懸念を理由に、アリゾナ州ルーク空軍基地において実施していたトルコ軍パイロットへのF35戦闘機の操縦訓練を停止する決定をしたと発表。アンドリュース中佐米国防総省報道官は、トルコの政策が変更されない限り、F35関連計画へのトルコの参加は縮小されると述べた。(6月12日付けBBCトルコインターネット版)

●エルドアン大統領、ローハニ・イラン大統領と電話会談

9日、エルドアン大統領は、ローハニ・イラン大統領と電話会談を実施。イラン大統領府の発表によれば、両首脳は米国による対イラン制裁を批判しつつ、両国の協力関係を今後も維持していくと発表。(6月9日付けCNNインターネット版)



(写真は、6月9日付けCNNインターネット版から)

●ル・ドリアン仏外相の訪問:チャヴシュオール外相と会談

13日、ル・ドリアン仏外相は、アンカラを公式訪問し、チャヴシュオール外相と会談した。両外相は、会談後の記者会見において、戦闘が激化するイドリブ情勢への懸念について一致する一方で、チャヴシュオール外相は、「フランスがテロ組織

PKKと同一組織であるYPGと協力していることは、正当でない。」と非難した。(6月13日付けAAインターネット版等)



(写真は、6月13日付けTRTインターネット版から)

経済

【マクロ経済】

●4月の貿易赤字、対前年同月比55.6%減

5月31日、トルコ統計庁(TUIK)は、4月のトルコの貿易赤字は29.8億米ドルで、昨年同月の67.1億米ドルから改善したと発表。輸出額は同4.6%増の144.8億米ドル、輸入額は同15.1%減の174.6億米ドル。輸出の輸入カバー率は82.9%となった。(5月31日付けHDN紙インターネット版)



(写真は、5月31日付けHDN紙インターネット版から)

【経済政策】

●トルコ中央銀行、政策金利を24%のまま据置き

12日、トルコ中央銀行は金融政策委員会を開催し、市場の予想どおり、政策金利を24%のまま据え置くことを発表した。中銀は、最近公表されたデータを基に、経済のリバランシング傾向が継続していると判断したことを理由として挙げた。また、外需は比較的維持されているものの、経済活動は厳しい財政状況もあり減速したままであるとし、内需の改善と金融引締め政策によりデysinフレーション(当館注:デysinフレーションとは、インフレーションを収束するために、デフレーションには至らない程度に物価や通貨価値の安定を図り、適度の財政・金融政策をとること。インフレとは反対に物価の上昇率が低下する状態を指すが、不況状態に陥る、または、供給過剰の状態に陥るデフレとは異なる。)を促進させるため、金融引締めのスタンスを維持したと説明した。(6月13日付けHDN紙1面及び9面)

●財務省、インフレ率と連動した変動金利の融資パッケージ「IVME」を発表

12日、財務省は、雇用と生産活動の増進において重要な役割を果たす企業を対象に、同省の融資パッケージとして250億トルコリラ相当を12の市中銀行を通じて提供することを発表。本融資パッケージは、「IVME(先進的、生産的、国産の、工業)」として5月に発表されたものだが、中小企業以外の企業も対

象とする。このパッケージでは、各企業は500万から5,000万トルコリラの融資を受けることができる。インフレ指数と連動する変動金利が設定され、36か月満期では消費者物価指数(CPI)+4、48か月満期ではCPI+4.5の利率を予定。本融資パッケージに参加する銀行は、ズイラート銀行、イシュ銀行、ハルク銀行、ギャランティ銀行、ヤプクレディ銀行、ワクフ銀行、アク銀行、QNB フィナンス銀行、デニズ銀行、トルコ経済銀行(TEB)、シェケル銀行及びトルコ輸出入銀行。金利は6か月ごとにCPIの水準に応じて修正される。(6月13日付けDS紙インターネット版から)



(写真は、6月13日付けDS紙から)

●銀行規制監督庁、クレジットカードの支払い上限回数を拡大

12日、銀行規制監督庁(BDDK)は、家具、電子機器、家電製品購入時及び航空券や宿泊に関する国内消費に際してのクレジットカードの分割払い上限回数を拡大することを発表。併せて、税金納入の分割払い上限回数も増加させた。発表によれば、ビデオ、カメラ、音響機器及び3,500トルコリラ以上のテレビや電子機器は3か月払いを6か月払いに、3,500トルコリラ未満のテレビは9か月払いを12か月払いに、冷蔵庫、洗濯機、食洗機等の家電製品は12か月払いを18か月払いに、家具類は12か月払いを18か月払いに拡大した。また、航空券及び宿泊に関する国内消費は9か月払いを12か月払いに、税金の分納は9か月払いを12か月払いに拡大した。なお、法人名義のクレジットカードにおける分割払いも12か月払いを18か月に拡大することを決定した。(6月13日付けSOZCU紙インターネット版)



(写真は、6月13日付けSOZCU紙インターネット版から)

【経済外交】

●トルコ、カナダと経済及び貿易協力にかかるMoUを締結

8日、トルコとカナダは、開催中のG20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合において、貿易、工業、サービス及び投資分野における二国間関係強化のための覚書に署名した。ペキジャン貿易相は、覚書が二国間の商業関係及び投資の増大に資するだろうとした上で、更なる二国間貿易の増大と貿易関係の法的基盤を整備するためには、自由貿易協定の締結が必要であると述べた。(6月8日付けAA)



(写真は、6月8日付けAAから)

【労働】

●2019年第1四半期、公務員として11万人の新規雇用

ドュンヤ紙の調査によれば、2019年の第1四半期に公務員として正規に雇用された人数は11万人を超えることが明らかになった。任期付き雇用も含めると、同期に雇用された合計人数は16.4万人となり、公務員の人数は2019年3月末時点で451.7万人(2016年12月は356万人、2017年12月は360万人)に達した。(6月11日付けD紙3面)



(写真は、6月11日付けD紙インターネット版から)

【企業等の動向】

●Uber、トルコにおけるUberXLサービスを終了、登録タクシーで継続

5月24日にエルドアン大統領が「Uberについての議論は終わった」と発言したことを受け、Uber社は同31日、トルコにおけるUberXLサービスは終了するものの、黄色及びターコイズ色の登録タクシーを使用することで、イスタンブール市民及び旅行者にサービスの提供を続けていくと発表した。Uber社は2014年にイスタンブールでの運営を開始し、安全な交通手段の一つとして普及したものの、地元のタクシー業界から反発を受けていた。同社は、トルコでは400万人以上がアプリをダウンロードし、1万2,000人のUberXLドライバー及び6,000社が収入を得ていたとした。(5月31日付けDS紙インターネット版)



(写真は、5月31日付けDS紙インターネット版から)

●サバンジュ、テムサ建機を売却へ

サバンジュ財閥が、コマツ製建設機械の輸入販売代理店であるテムサ建機の株式売却について競争庁に申請を行い、交渉に入ったことが明らかになった。2014年5月、テムサ建機の株式49%は丸紅が買収している。(6月7日D紙5面)

●日産トルコの新 GM にエムレ・ドーウエリ氏

10 日、トルコで販売活動を行う日産トルコは、日産インド社長に就任した前日産トルコ GM のシナン・オズキョク氏に代わり、エムレ・ドーウエリ氏を新 GM として任命した。ドーウエリ新 GM の前職はシトロエン・トルコ。日産トルコでは、トルコに加え、南アフリカ及び CIS 諸国を担当する。(6 月 10 日付け H 紙インターネット版)



(写真は、6 月 10 日付け H 紙インターネット版から)

●JTIトルコの新 GM にコンラッド・ポリット氏

JTIトルコは 2019 年 6 月、新たな GM としてコンラッド・ポリット氏を任命。JTI のトルコにおける販売及びマーケティング活動に従事する。ポリット氏はドイツの大手タバコ企業レームツマでキャリアを開始した後、2006 年に JTI に入社し、ハンガリー、ドイツ、チェコ及びスロヴァキアにおける販売とマーケティングを歴任。ポリット新 GM は、JTIトルコが設立から今日までに 13 億米ドルの投資を行い、トルコの雇用と経済に貢献してきたと述べた。(6 月 11 日 HT 紙インターネット版)



(写真は、6 月 11 日付け HT 紙インターネット版から)

●オランダの PayU 社、トルコの iyzico 社を買収

11 日、オランダのオンライン決済サービス事業者である PayU 社は、トルコで同様の事業を展開するサービス事業者 iyzico 社を 1.65 億米ドルで買収することを発表した。この買収による PayU 社の狙いは、インターネットショッピング及びオンライン決済サービスの成長が著しいトルコで業界トップとなること。iyzico 社はアマゾン、H&M、Zara、Avon、Sahibinden 等にサービスを提供しており、決済高は 50 億トルコリラ相当に上っていた。買収手続は数か月内に完了予定。(6 月 13 日付け HDN 紙 9 面)

治安

【ISIL】

●取締り強化により、ISIL の活動を未然防止。

3 日、トルコ内務省は 5 月 1 日からの全国規模のテロ対策作戦にて 225 名を逮捕したと発表した。逮捕された容疑者は、ラマダン・パイラム期間中のテロ計画を進めていたと見られる。(6 月 4 日付け S 紙インターネット版)

●ISIL 関係者、アダナ県において 10 名逮捕

12 日、警察は、トルコ中南部のアダナ県において 19 の住宅を強制捜査し、ISIL との関係が疑われる 10 名の容疑者を逮捕した。

(6 月 12 日付け S 紙インターネット版)



(写真は、6 月 12 日付け S 紙インターネット版から)

【PKK】

●ベシクタシュでのサッカー場テロ事件の容疑者 1 名逮捕

12 日、ジャンダルマはハッキヤリ県において、PKK メンバー 1 名を逮捕した。容疑者は、2016 年にベシクタシュ地区のサッカー場「ボーダフォンアリーナ」で発生した爆弾テロ事件に関係していた。このテロ事件では警官 40 名を含む 47 名が死亡、242 名が負傷した。(6 月 12 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、6 月 12 日付け HDN 紙インターネット版から)

【FETO】

●FETO メンバー 74 名に終身刑

5 月 30 日、トルコの裁判所は、2016 年のクーデター未遂事件に際して軍用ヘリコプターでの爆撃を行った FETO メンバーの元軍将校 74 名に対して終身刑の判決を下した。この爆撃では、民間人 28 名が死亡、276 名が負傷した。(5 月 31 日付け S 紙インターネット版)



(写真は、5 月 31 日付け S 紙インターネット版から)

【その他】

●トルコ国内での薬物押収量、EU での総量を超える

6 日、欧州医薬品監視センター (EMCDDA) が発表したレポートによれば、トルコは中東からヨーロッパへの薬物輸送の主要中継地点となっており、2017 年の統計から EU 全域での押収量を上回る量がトルコにおいて押収されていると発表した。ト

ルコ政府は、2014 年から「麻薬に対する迅速な行動計画」を開始しており、取締りの強化に努めているとしている。(6 月 7 日付け S 紙インターネット版)

●イスタンブールにおいて薬物取締り強化

5 月 29 日から 6 月 6 日までの期間に、イスタンブールにおいて薬物取締りが行われた。これによりイスタンブール市内各所でコカインやヘロインなどが押収され、容疑者 6 名が逮捕された。(6 月 11 日付け S 紙インターネット版)

軍事

●トルコ軍兵士 3 名が PKK との衝突で死亡

5 月 31 日、ウードゥル県において PKK テロリストとの衝突により 3 名が死亡、4 名が死傷した。衝突はアルメニアとアゼルバイジャンとの国境でもあるアラルック地区のイラン国境付近で現在も継続している。(6 月 1 日付け S 紙インターネット版)



(写真は、6 月 1 日付け S 紙インターネット版から)

社会

●アンタルヤの訪問者数が過去最高を記録

8 日、トルコのリゾート都市アンタルヤへの空路による到着人数が 8 万 5,205 人となり、過去最高を記録した。今月のアンタルヤ訪問者数は、対前年同月比 17 パーセント増の 57 万 422 人、また、2019 年の訪問者数は 387 万 211 人で対前年度 18 パーセント増となっている。(2019 年 6 月 9 日付け HDN 紙インターネット版)

●サッカー欧州選手権予選でトルコがフランスに勝利

8 日、サッカーの 2020 年欧州選手権予選が各地で行われ、トルコは昨年の W 杯ロシア大会優勝のフランスを 2-0 で破った。過去フランス代表に対して勝利したことのなかったトルコ代表は、通算 5 戦目にして初勝利を飾ることとなった。(6 月 9 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、6 月 9 日付け HDN 紙インターネット版から)

●バイラム期間中の交通事故で 86 名が死亡

内務省によれば、9 日間の連休の交通事故の死亡者は、少なくとも 86 名に上り、39 県にて 73 件の交通事故が報告されている。休暇中、全国の路上では 18 万 5 千人の警官が交通規制にあたり、死亡者数は昨年同時期に比べ 51.5%減少した。オスマン・アユック・トルコホテル連盟(TÜROFED)会長によれば、

バイラム期間中のトルコ国内旅行者の約 500 万人の大半は故郷への帰省者で、30 万人から 40 万人がリゾート地や観光地への旅行者客であるとみられている。(6 月 10 日付け HDN 紙インターネット版)

●古代の門の改修作業が「新装」完了

アンタルヤ県コルクテリ地区に 800 年前に建築されたアラッディン・モスクの「王冠の門」の修復が完了した。同モスクは、アナトリア侯国の建造物の中で最も重要な建造物の一つ。芸術史の観点からも重要な「王冠の門」は、2015 年に開始した修復作業の一環として取り外されていたが、2016 年に修復のために取り外された石の多くが、盗難に遭い、2017 年には当初作業を行っていた企業とは別の企業が 10 か月の期限付きで新たに修復作業を開始し、今年初めに完了した。改修後は、以前の面影は全く残っておらず、「アナトリア史上の傑作」と称された門は、新たな姿で観光客を迎え入れることとなった。(6 月 11 日付け HDN 紙インターネット版)

(改修前)



(改修後)



(写真は、6 月 11 日付け HDN 紙インターネット版から)

●イスタンブール音楽祭開始

11 日、イスタンブール文化芸術財団が主催する第 47 回イスタンブール音楽祭が開幕した。音楽祭は、6 月 30 日までイスタンブール市内の 15 か所で開催される。オープニングコンサートは、第 17 回シヨパン国際ピアノコンクール優勝者のチョ・ソンジン氏により行われた。30 日のクロージングコンサートは、25 年以上にわたり世界中を魅了し続けているファズル・サイ氏が上海フィルハーモニーオーケストラと共に行う。(6 月 12 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、6 月 12 日付け HDN 紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

略語	正式名称	引用メディアの略称	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2019.1.1～2019.6.13 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2018年	0件	9件	0件	2件	0件	15件	0件	6件
2019年	件	6件	0件	1件	件	5件	0件	2件